

東京のすみずみから、全国各地から、第36回日本高齢者大会に参加しましょう

はっぴゃくやちょう

第36回日本高齢者大会in東京 東京実行委員会

〒170-0005

東京都豊島区南大塚3-1-12 生方ビル4F

TEL 03-5956-8781/FAX 03-5956-8782

E- [文書の重要な部分を引用して読者の注意を引いた]

大正大学キャンパスに1360人集う

「ストップ軍拡 かがやけ人権」の熱気！



日本高齢者大会in東京。一日目の12日は大正大学で学習講座・分科会が開催され、WEB参加も含めて1,360名の方が参加されました。今の世界情勢や日本の軍拡化が進む中で時宜にかなった学習が出来ました。分科会でも明日の活動のヒントが得られたのではないのでしょうか。

全体会では分科会の報告もあります、来年の第37回日本高齢者大会開催地の発表もあります。昨日・今日の大会の成果を地域で実践し、その成果を来年の大会に持ち寄ってさらに深めていきましょう。

第8講座—高齢者の就労と貧困問題



定員越えの満席、高齢者の貧困問題に対する関心の高さがわかります。

講師の藤田先生の第一声は「年金の上がった人いますか？」です。誰もいません。現在高齢者の20%は貧困で、こんなに貧困率の高い国はない。政治の失敗、そしてその失敗を指摘する人がいない。また、年金が少ないために働かなくてはいけない高齢者も多い。

親の介護、非正規の子どもたちの扶養などが肩にかかっている人も多く、「下流老人の次は過労老人」になると心配していると話されていました。質問が東京と静岡から出されました。最後に藤田先生は「年金、生保、最低賃金、三位一体で運動をしていきましょう」と締め括られました。

第13講座—原発とエネルギー問題

原発とエネルギー問題の講座も定員いっぱいの参加でした。参加者は難しい話しにも関わらず「うん、うん」「おー」と声を出して聞いています。特に「安全性と環境適合性に優れた再生可能エネルギーを拡大することで原発は必要ない」には参加者は大きく頷いていました。

原発には安全性に疑問があったり、軍事転用の恐れや第1級の攻撃対象となるなど4つの致命的欠陥も報告され、福島を繰り返さないための運動の必要性をあらためて確認した講座でした。

第6講座

コロナ禍でみえた日本の医療の課題

参加者の関心は高く、63席の会場は空席がなく、満席の状態。

全日本民医連の増田会長の話は、コロナパンデミックによる医療ひっ迫下での様々な問題を具体的に話され、医療機関の困難な経営状況とその源になっている政治の問題も指摘

その後、医療の問題に限らず、マイナンバー法、原発推進法、入管難民法から、LGPT理解増進法まで、岸田内閣の悪法の数々、ガザの現状と国連における日本の態度まで総合的に全面的に展開されました。

参加者はさすがに医療関係者が多かった様ですが、医療の問題はもちろん、全般の政治情勢についても、分かりやすく理解を深められる講義でした。



写真：第9講座—いのちのとりで裁判と生存

民間だけでなく、公営・UR住宅の方なども賃借料が高く都営に移動したい人が多く、どういう対策がされているか知りたくて参加。
(東京・女性)



田中優子先生、佐々木憲昭先生の話をLIVEで聞きたかった。年金が少なくて生活が苦しい。政治が悪いので、勉強して伝えているが選挙で通ってしまう。有権者が何も考えていない。
(鹿児島・女性)

参加者の声

日本が国民の合意がないまま戦争する国にならないように。父親を戦争でなくして9条は父親の遺産だと思っている。日本が戦争したら父親は犬死になる。大会には何十回と参加しています。高齢者が頑張って未来を作りたい。
(愛知・男性)

この大会には熱海、福島や東京に参加して5年くらい。身近な問題が知りたくて参加しました。最近感じていることは、ガザの問題。若い人がいろいろ動いているようだけど、高齢者もなにかできないか考えています。
(東京・男性)

—メッセージ・祝電—

「第36回日本高齢者大会」のご開催を心よりお祝い申し上げます。

すべての世代が安心して高齢期を迎えられ、高齢者が孤立することなく生き生きと暮らすことの出来る社会の実現をめざす貴会の取り組みに深く敬意を表します。

本大会において、高齢者を取り巻く社会の状況や、課題について議論が深まることを期待しております。

大会のご盛会とお集まりの皆さまのご健勝を心より祈念いたします。

武蔵野市長 松下玲子

このたび、第36回日本高齢者大会in東京が関係の皆様多数ご出席のもと、盛大に開催されますことをお慶び申し上げます。

貴大会が掲げられているスローガンや平和への願いが、一人ひとりの心に響き、意義深いものとなることを衷心より祈念申し上げます。

貴大会の今後ますますのご発展と、お集りの皆様のご健勝、ご多幸を心よりお祈り申し上げます

府中市長 高野律雄

第36回日本高齢者大会in東京の開催を心よりお祝い申し上げます。

高齢者が孤立することなく生き生きと暮らすことのできる社会の実現を目指すことに、大いに共感するものです。

多摩市では、身体面での健康だけでなく、高齢の方をはじめだれもが幸せを実感できる「健幸都市（スマートウェルネスシティ）」を目指し、行政だけでなく、市民や事業者、大学等と、まちぐるみでつくっていく「健幸まちづくり」に取り組んでいます。

本大会のご成功と、参加される皆様のご健勝を祈念申し上げます

多摩市長 阿部裕行

日本共産党参議院議員 原水爆禁止日本協議会
田村智子
山添 拓

夜の交流会



今風井戸端会議

あんなことや、こんなこと。ワイワイガヤガヤ、悩みやうっぷんを出し合って、明日からまた頑張ろう。

老いも若きも歌を歌えば心もはずむ。暗い世相をみんなのうたごえで明るく変えていきましょう。

♪うたごえ♪



社会保障をどう勝ち取ってきたかその歴史を学ぶことで明日からの活動の糧になります
篠崎さんの話にメモを取る姿もありました。

みんなで聞こう
—篠崎次男さんの話—



大会の様子はFacebookで随時発信します (Facebookで高齢者大会東京実委で検索)

●速報No3は東京高齢期運動連絡会のホームページに掲載します
大会終了後ホームページに掲載します。ダウンロードしてご利用下さい